

様式

委員会規則第3条第1項に基づく届出書

平成29年8月21日

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 執行機関の別 | 1: 都道府県知事・市区町村長等 |
| | <input type="radio"/> 知事 <input checked="" type="radio"/> 市区町村長等 |
| 2. 都道府県名 | 佐賀県 |
| 3. 市区町村名 | 伊万里市 |
| 4. 届出番号 | 6 |
| 5. 独自利用事務の事例番号 | 94-3 |
| 6. 届出書を公表しているウェブページのアドレス | http://www.city.imari.saga.jp/10324.htm |

執行機関名 伊万里市長

介護サービス等の給付に関する事務(介護用品支給に関する事務、日常生活用具の給付に関する事務、住宅改造等費用助成に関する事務、移動支援に関する事務等(介護保険法に基づく市町村特別給付及び地域支援事業を含む。))

1. 準ずる法定事務の名称と趣旨又は目的の内容等

| | (1) 法定事務 | (2) 独自利用事務 |
|--------------------------------|---|---|
| ①事務の名称 | 介護保険法による保険給付の支給、地域支援事業の実施又は保険料の徴収に関する事務であって主務省令で定めるもの | 伊万里市福祉緊急通報システム事業の実施に関する事務であって規則で定めるもの |
| ②番号法別表第1の項 | 68 | |
| ③番号法別表第2の項 | 94 | |
| ④番号法第9条第2項に基づき定める条例の名称及び①の該当部分 | | 伊万里市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例 別表第1 第19の項 伊万里市福祉緊急通報システム事業の実施に関する事務であって規則で定めるもの |
| ⑤事務の趣旨又は目的が規定されている箇所 | 介護保険法(平成九年法律第百二十三号)第1条 | 伊万里市福祉緊急通報システム事業実施要綱(平成26年告示第31号)第1条 |
| ⑥事務の趣旨又は目的 | この法律は、 <u>加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等</u> について、これらの者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び <u>福祉の増進</u> を図ることを目的とする。 | この要綱は、ひとり暮らし等の理由により緊急時の救急通報等を行う者が家庭内にいない <u>高齢者及び身体障害者</u> (以下「ひとり暮らし高齢者等」という。)の不安を解消するとともに、 <u>生活の安全を確保</u> するために実施する福祉緊急通報システム事業(以下「本事業」という。)について、必要な事項を定めるものとする。 |
| ⑦独自利用事務の関連規範 | | 伊万里市福祉緊急通報システム事業実施要綱 |